

平成29年度
事業報告書
(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

社会福祉法人 日辰会

平成29年度社会福祉法人日辰会

事業報告書

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づき、平成29年4月より評議員会・役員・理事会の役割分担等が大きく変更された上での法人運営となりました。

また、今年度、評議員1名、理事1名が病気でお亡くなりになりましたが、新しい方が法人運営に加わることとなりました。

法律等は、目まぐるしく変化しますが、法人として“利用者さんの思いや健康を大切に支援する”ことはいかなる場合であっても基本として法人運営をしてまいりました。

1. 当年度事業

法人として平成29年度下記事業を実施した。

(1) 第二種社会福祉事業

・多機能型事業所の経営

(就労継続支援B型) 定員38名

ロータス授産センター (定員28名) 平塚市出縄336番5

ロータス授産センター分場 (定員10名) 伊勢原市伊勢原2-5-9

(生活介護) 定員12名

ロータス授産センター

平塚市出縄336番5

・共同生活援助(介護サービス包括型)の経営

ヴィラ清川 (定員7名) 愛甲郡清川村煤が谷字姥石661番地

(2) 定款変更等

イ 社会福祉法改正のため 定款変更

平成29年4月1日施行

ロ 就労継続支援B型指定更新

平成30年2月1日～平成36年1月31日

(3) 理事会、監事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の構成

① 理事 6名

理事長 高橋 通良

理事 高橋 通良

山口 晴一

小泉 一郎

須藤 俊男

中里 勝禮

中村 良枝

② 監事 2名

黒井 朝久

水地 啓子

③ 評議員 7名
伊藤 康雅
大塚 滋
朝倉 徳男
水島 米子
児玉 利治
黒部 光司
青山 元彦

④ 評議員選任・解任委員 3名
黒井 朝久 (内部)
中川 重年 (外部)
眞壁 洋道 (外部)

3. 理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施状況

(1) 理事会の開催

開催年月日	議 題		
第1回理事会 29, 5, 19 午後	第1号議案	平成28年度事業報告(案)について	承認
	第2号議案	平成28年度決算報告(案)について	承認
	第3号議案	監事監査報告について	承認
	第4号議案	理事の任期満了に伴う改選について	承認
	第5号議案	監事の任期満了に伴う改選について	承認
	第6号議案	役員報酬規程について	承認
	第7号議案	その他	承認
第2回理事会 29, 6, 2午後	第1号議案	理事長の選定について	承認
	第2号議案	その他	承認
第3回理事会 29, 10, 17	第1号議案	評議員の推薦について	承認
	第2号議案	その他	承認
第4回理事会 30, 3, 29	第1号議案	平成29年度補正予算(案)について	承認
	第2号議案	平成30年度事業計画(案)について	承認
	第3号議案	平成30年度予算(案)について	承認
	第4号議案	理事1名の推薦について	承認
	第5号議案	給与規定の一部変更について	承認
	第6号議案	無期・有期契約職員就業規則について	承認
	第7号議案	評議員会について	承認
	第8号議案	その他	承認

(2) 評議員会の開催

開催年月日	議 題		
第1回評議員会 29, 6, 2 午前	第1号議案	平成28年度事業報告(案)について	承認
	第2号議案	平成28年度決算報告(案)について	承認
	第3号議案	監事監査報告について	承認
	第4号議案	理事の任期満了に伴う改選について	承認
	第5号議案	監事の任期満了に伴う改選について	承認
	第6号議案	役員報酬規程について	承認
	第7号議案	その他	承認

(3) 監査の実施

監査実施日 29, 5, 19午前	黒井朝久、水地啓子監事2名により、法人定款第18条第1項の規程に基づき、平成28年度事業に係わる理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況について監査を実施した。
----------------------	--

(4) 評議員選任・解任委員会の開催

開催日時 29, 10, 31	黒井朝久、中川重年、真壁洋道評議員選任・解任委員3名により、新評議員について討議・選任
--------------------	---

就労継続支援B型事業所

平成29年度 ロータス授産センター

就労継続支援B型 事業報告

29年度を振り返って

新法に変わったが、施設の日々に大きな変化はなく、比較的穏やかな1年であった。ただ、授産作業の下請け部門の業者が8月末に突然廃業通知を送ってきた。主力の業者であったため対応に苦慮した。その後、関連業者の働きにより従来の作業が確保でき、前年度同様になった。本当に多くの人の支えを感謝した。

29年度内容

施設の基本方針

一般企業で働くことが困難な障害者が、自立した日常生活または社会生活を営むことが出来るよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。

基本方針を遂行するために守ったことは

1. “命と人権尊重”
2. “利用者主体のサービス提供”
3. “健康な生活”
4. “職員の資質、専門性の向上”
5. “施設運営の透明性の堅持”

具体的活動

1. 処遇面

(1) 利用者の意思尊重

- ①担当職員の選択制（平成8年度からの継続）
- ②苦情解決責任者による利用者さんご本人からの聴き取り調査（平成8年度からの継続）
- ③利用者自身の主体的な企画、運営による厚生活動の実施（継続事業）
- ④利用者や保護者と共に考える個別支援計画の策定

29年度個別支援計画をケース会議にて原案を策定し、4月に利用者本人及び家族等の同席のもと説明・調整し、ご本人の同意を得て個別支援計画を策定、実施した。

(2) 利用者会の活性化（継続事業）

自分たちの生活は自分たちで決めるという認識が以前に比べ、定着してきている。

(3) 日課

～ 9:00 出勤
9:00～ 9:30 ミーティング・ラジオ体操

9:30～12:00 午前の作業
途中ストレッチ5分
12:00～13:00 昼食・休憩
13:00～15:30 午後の作業
途中ストレッチ5分
15:30～15:50 清掃、帰りの会
16:00 帰宅

(4) 年間行事 別掲

(5) 環境整備・安全

・施設設備の保守点検・清掃委託業務

エレベーター	毎月1回
浄化槽	年6回
浄化槽法定点検	年1回 8/30
防災設備	法定点検2回 7/12, 1/10
受水槽	7/7 清掃、点検
水質検査	7/7
電気設備点検	年6回

(6) 個人情報保護の徹底

前年同様、常に個人情報を意識した行動に、職員全員で努めた。

(7) 健康管理

日時	種別	内容	実施者
毎月	身体測定	身長、体重	支援員
隔月	血圧測定	血圧	支援員
9, 14	定期健康診断	内科、血液検査、血圧測定、メタボ	森腎クリニック
2, 23	定期健康診断	身長、体重、聴力、視力、血圧 血液、尿、内科、心電図、X線 メタボ	全日本労働福祉協会

毎月初旬 身体測定（身長、体重）を支援員が実施

- ・ 嘱託医 森腎クリニック 森忠三
- ・ 協力医 三浦胃腸科クリニック
- ・ " 北山整形外科

(8) 防災

- ・ 災害発生に備え、防災備品等の再点検及び補充をした。
- ・ 非常時用薬品の確保、特に利用者の常備薬の預かりの継続

防災訓練実施状況

実施日		想定	訓練内容
センター	分場		
4, 4	4, 6	火災	避難・初期消火訓練
5, 2	5, 1	地震	避難・負傷者搬出訓練
6, 1	6, 1	火災	避難・通報訓練・初期消火訓練
7, 11	7, 3	地震	避難
8, 21	8, 2	火災	避難・初期消火訓練
9, 15	9, 1	総合	避難・通報・初期消火訓練 (消火器)
10, 12	10, 5	地震	避難
11, 6	11, 1	火災	避難・初期消火訓練
12, 13	12, 1	地震	避難・負傷者搬出訓練
1, 25	1, 9	体験	厚木防災センターにて総合体験訓練
2, 9	2, 1	地震	避難
3, 2	3, 2	総合	避難・通報・初期消火訓練 (消火器)

- (9) 安全 今年度より、車輻にドライブレコーダーを搭載
防犯カメラ (不審者対応) の設置

(10) 授産

授産収入の大半が企業からの受注作業である。本年度は、自動車部品関連とその他の加工が受注できた。

年度	平均工賃 (円) / 月
25年度	14,241
26年度	15,571
27年度	14,791※
28年度	15,565
29年度	16,643

作業内容は利用者さんの希望を優先とし、作業が過重にならぬよう配慮した。

※ 27年度は、欠席者が多かったため、平均工賃が減となっている。

2. 施設活動の開示、PR

- (1) ホームページにより、情報発信。

スマホ対応ページ作成

- (2) 地域活動への積極的参加

平日に実施される地域活動が少ないため、施設とし参加できる行事が限られている。

3. 職員

- (1) 職員の資質、専門性の向上

・ 施設外・施設内研修状況 別掲

(2) 会議の充実

名 称	内 容	回 数
職員会議	施設全般、利用者全般、職員全般に係るもの	月1回
ケース会議	利用者個人に関すること、支援計画、同モニタリング	月1回

(3) 職員配置状況 (直接処遇職員)

前年度平均利用者数	30.9人	
基 本	前年度利用者数/7.5	3.1人
目標工賃達成指導員を含む	前年度利用者数/6	4.1人

直接処遇職員 (目標工賃達成指導員をふくむ)

職 種		常勤換算	常勤	非常勤	備考
サービス管理責任者		1	1人		分場兼務
目標工賃達成指導員		1	1人		分場兼務ぶ
センター (定員28名)	職業支援員	3.8	人	5人	
	生活支援員	1.3	1人	1人	
分場 (定員10名)	職業支援員	1	1人		
	生活支援員	0.7		1人	
支援員計		(7.7)			

その他の職員

職 種	常勤換算	常勤	非常勤	備考
管理者	1	1		分場兼務
事務員	1.4		2	
嘱託医	1		1	
運転手	0.6		2	

2018,3,31 現在

以上

平成29年度 ロータス授産センター
生活介護事業報告

29年度について

利用さんが日々、どのように生活したいか一人一人の思いに沿って活動していく中で、それぞれが施設や仲間の意味を感じ取れるように支援した。何かが出来るようになることは大切だが、出来なければならないではなく、それぞれの目標に向けて努力する楽しさを感じてもらえるよう支援に努めた。

1. 基本方針

利用者一人一人の思いやニーズを尊重した日中活動支援を行い、利用者一人一人の個性を大切にすると共に、個々の人生の充実を目指した支援を提供する。

基本方針を遂行するために守ることは

1. “利用者さんの命・人格・人権の尊重”
2. “利用者さん主体のサービス提供”
3. “健康な生活”
4. “職員の資質、専門性の向上”
5. “施設運営の透明性の堅持”

2. 職員

(全体 前年度平均利用者数2.4人、基準上必要職員0.4人)

管理者 1名 (常勤)

サービス管理責任者 1名 (常勤)

生活支援員 1.6名 (常勤1名、非常勤2名)

看護師 1名 (非常勤)

3. 日課

9:00	送迎開始 連絡帳の確認、着替えの支援
10:00~10:30	ミーティング・体操
10:30~12:00	午前の活動 自立課題 (利用者さんと相談して決めたもの) 軽作業、散歩、創作活動、
12:00~13:00	昼食・休憩
13:00~15:00	午後の活動 歯みがき 読書、軽作業、軽い体操等
途中1回	ティータイム
15:15	後片付け・帰宅準備・帰りの会 帰宅 送迎開始
16:00	送迎終了

4 当年度事業実施内容

1. 支援目標

- ① その人らしく
- ② 健康で楽しい日々
- ③ いきがいと自立

2. 事業内容

- (1) 利用者さんや家族と共に生活介護計画を作成し、それに基づいた個別支援の実施
- (2) 利用者さん本人の能力と意欲を尊重し、現在の体力や能力の維持を図った。
日々の活動内容を利用者さんとの話し合いで決定
それぞれの体調に合わせて、毎日、楽しくからだを動かす時間を取った。
- (3) 地域生活に必要な知識及び能力の向上のために必要な支援の実施
・生活全般を通して、協調性・思いやり等対人関係の援助・指導を実施。
・行事やサークル活動等を通して、必要な対人関係や金銭管理等を支援。
- (4) 相談支援
・利用者さん個々の意見・意思表示を真摯に受け止め、問題解決に努めることにより信頼関係を深め、支援の成果を上げるよう努めた。
- (5) 環境整備
・利用者さんが安心・安全に過ごせるようリスクマネジメントの体制を整えた。
・苦情解決担当者、責任者、委員会を設置。
・防災対策の適切な実施
- (6) 行事及び余暇活動支援

基本行事は就労継続Bと共通

クッキングの実施 月1回（利用者さんの希望により内容を決定）

月	内容	月	内容
4.27	クッキー	10.4	ロールケーキ
5.23	どら焼き	11.30	ケーキ
6.30	カップケーキ	12.14	お茶会
7.27	ブルーチェ	1.11	お茶会
8.31	ゼリー	2.8	チョコフォンデュ
9.21	お茶会	3.8	お茶会

避難訓練は就労継続Bと合同実施

3. 苦情対応

法人苦情対応規程に基づき苦情発生時の迅速な対応

法人単独の苦情対応の第三者委員を設置。

苦情解決責任者、苦情受け付け担当者を配置

4. 健康面

①健康管理

看護師や嘱託医と相談しながら、利用者さんの健康維持に努めた。

②健康診断 年2回実施

9月14日 森腎クリニック

2月23日 全日本労働福祉協会

5. 職員・施設

- ① 職員の資質、専門性向上のための研修実施（別紙）
- ② 会議 施設全体で実施

職員会議 月1回 実施
ケース会議 月1回 実施

- ③ 防災対策・危機管理 就労Bと連携
- ・災害発生に備え、避難訓練、施設内の避難路等の確保、防災備品等の整備・充実を図った。
 - ・非常時対応のために日頃、利用者さんが服用している薬の預かりをした。
 - ・防災組織 就労継続Bと連携
 - ・消防計画・管理運営規程に基づく消防設備の保守点検。
 - ・避難訓練 就労継続Bと合同実施
- ④ 個人情報保護の徹底
- 法人個人情報保護規定に基づき、常に個人情報保護を意識した行動をとるよう、職員全員で努めた。利用者自身の意識も引続き育成する。
- ⑤ 環境整備・安全
- ・施設内は、常に清潔、安全、整理整頓に努め、利用者が快適で安全に作業ができる環境を整えた。
 - ・エレベーター、浄化槽、防災設備、受水槽、電気設備等の法定保守点検業務の適性実施
- ⑥ 施設活動の開示、PR 就労継続Bと連携実施
- ・ホームページ、ロータス便りにより、施設活動の開示を図る。

以上

月	日	内 容
4	1	利用者、センター28名、分場6名 計34名(定員38名) 職員センター15名、分場2名計17名で新年度スタート
		生活介護 利用者4名 職員3名で新年度スタート
	7	花まつり(地域交流事業)
	11	実習生1名、14日まで
	27	分場見学 伊勢原養護学校3名
5	19	監事監査
		理事会(理事6名、監事2名)
6	2	定時評議委員会(評議員7名、監事2名、理事2名)
		理事会(理事6名、監事2名)
		分場見学 個人2名
7	7	創立記念日
		水質検査
	7	貯水槽点検
	11	分場 伊勢原消防署立入検査
	12	消防設備点検 足柄防災
	13	ゆうせん修理
	25	見学者5名(湘南養護)
8	17	評議員須藤良男氏死去
		浄化槽 法定点検
		下請け業者1社9月末で廃業連絡
10	3	赤い羽根街頭募金(平塚)
		赤い羽根街頭募金(伊勢原)
	11~16	平塚市福祉展
	16	教育実習生受け入れ1名、20日まで
	17	理事会
	24	電話工事
	31	評議員選任・解任委員会
11	1	新評議員 黒部光司氏就任
12	29~8	冬期休暇
1	9	仕事始め
		消防設備点検 足柄防災
	17~19	伊勢原市福祉展
	18	トイレ掃除 ダスキン
	19	手話講習会(県社協講師派遣による)
	23	理事 中里勝禮氏死去
2	1	就労継続B型 指定更新
3	29	理事会(理事6名、監事2名)
		個々面談・苦情聞き取り調査

月	日	内 容	ボランティア参加
4	4	カットボランティア	
	7	花まつり(地域交流事業)	12
	21	遠足(木下サーカス、横浜)	1
	27	和太鼓教室	1
5	8	非常食昼食	
	20	土曜レク カラオケ(シダックス)	
6	6	カットボランティア	10
	23	和太鼓教室	
		外食(班ごとに)	
7	7	創立記念日	
	14	食事会(小田原スタミナ太郎)	
8	1	カットボランティア	12
	5	土曜レク 納涼会	
	11~16	夏休み	
	25	映画観賞会(ペット)伊勢原育成会の招待	
9	9	土曜レク カラオケ(シダックス)	
	14	定期健康診断(森腎クリニック)	
10	3	赤い羽根街頭募金(平塚)	
	3	カットボランティア	13
	10	赤い羽根街頭募金(伊勢原)	
	11~16	平塚福祉展展示	
	27	和太鼓教室	
		外食(班ごとに)	
11	2	一日園長	
	9	インフルエンザ予防接種	
	18	ロータス祭り(五分一囃子会・おっかさん太鼓・岩井さん・マニッシュ&東京ソニックスの演奏・バームクーヘン作り・フリーマーケット等ボランティアさん多数参加による)	35
12	7	日帰りバス旅行(スカイツリー、浅草)	
	12	カットボランティア	12
	23	クリスマス会(センターにて)	
	28	大掃除	
	29~8	冬期休暇	
1	9	仕事始め	
	9	新年会	
	17~19	伊勢原福祉展参加	
	19	手話講習会、保護者懇談会	
	26	成人の祝い・食事会(小田原すたみな太郎)	
2	54	節分、豆まき	
	7	カットボランティア	12
	23	健康診断(全日本労働福祉協会)	
		外食(班ごとに)	
3	2	厚木防災センターで体験研修	
	3	ひなまつり	
	16	映画観賞(オリンピック)	
		個々面談	

平成29年度 ヴィラ清川 事業報告

29年度について

29年度の利用者数は、前年度に比較し平均的に増加してきている。グループホームでの生活を楽しんでいる様子が見られる。家族も休日にグループホームを訪れるなど生活が安定してきているようだ。まだ、体験が多いので、本入所に繋げることが今後の課題である。

1. 基本方針

利用者さん一人一人の思いやニーズを尊重し、生きがいを持って楽しく生活が出来るよう、一人一人の個性を大切に日中活動支援並びに夜間支援を行う。また、ご家族が安心して預けることが出来るよう、安全で、健康的な施設づくりを目指すと共に、自立と社会活動の促進を図り、地域社会に開かれた施設運営に努める。

基本方針を遂行するために守ることは

1. “利用者さんの命・人格・人権の尊重”
2. “利用者さん主体のサービス提供”
3. “健康で落ち着いた生活”
4. “職員の資質、専門性の向上”
5. “施設運営の透明性の堅持”

2. 職員

管理者 1名（常勤）
サービス管理責任者 1名（常勤）
サービス支援員 0.7名（常勤1名、非常勤1名）
世話人 1.5名（非常勤3名）
夜勤スタッフ（非常勤・常勤）

3. 日課表

6：00 起床、身支度等
6：40～7：30 朝食、服薬、片づけ
7：30～8：00 身支度、通所準備、出勤準備
8：00～9：00 自由時間、出発
（各自、日中活動）
16：00 帰宅、自由時間
17：30～18：30 夕食、服薬、片づけ
18：30～21：30 入浴、自由時間
22：00 就寝

4. 29年度 支援実施内容

支援目標

- ・そのひとらしく
- ・健康で生きがいのある日々
- ・家庭の温かさで

- ・相談支援 安全で健康な生活を送ることが出来るよう助言・援助を行った。
- ・食事の提供 朝食・夕食（月～金）
土・日・祝日は3食
ご本人の希望を取り入れながら、バランスのとれた食事を提供することに努めた。
- ・健康管理 体重測定、健康診断、通院同行等健康的な生活を送るための支援を行った。
生活習慣病、感染症の予防に努めた。
- ・入浴・排せつ 基本の生活スキル定着のため、必要な範囲及びご本人の同意を得た範囲入浴・排せつの支援を実施。
- ・緊急時の対応 緊急時の連絡体制を確保。連絡先・連絡方法は共同生活居住内の見やすい場所に掲示。
- ・行事 今年度は、入所者が1名だったため、行事は少なかった。
年末の宮が瀬のクリスマスは、体験利用者さんも一緒に3回実施。大変好評で2度も見学に出かける利用者さんもいた。
- ・環境整備 施設内は、常に清潔・安全・整理整頓に努め、利用者が快適、安全に生活ができる環境整備に配慮。また、感染症等が発生しないよう職員間の連携を密にし、清潔・安全に配慮した。
利用者さんが安心・安全に過ごせるようリスクマネジメントの体制を整えている。
- ・苦情対応 法人苦情対応規程に基づき苦情発生時の迅速な対応
法人単独の苦情対応の第三者委員を設置。
苦情解決責任者、苦情受け付け担当者を配置
- ・虐待防止 常に人権を意識した支援をした。
- ・防災対策
 - ・危機管理
 - ・相模原の事件を機に、防犯カメラを設置
 - ・警察等に通報できる機器を設置
 - ・セコムと契約
 - ・災害発生に備え、昼間・夜間避難訓練の実施
 - ・施設内の避難路等の確保、防災備品消防計画・管理運営規程に基づく消防設備の保守点検（業者委託）
 - ・防災設備、電気設備等の法定保守点検業務の適性実施
- ・健康管理 嘱託医及び協力医と連絡をとりながら、利用者さんおよび職員の疾病予防に努めた。
- ・個人情報保護の徹底 法人個人情報保護規定に基づき、常に個人情報保護を意識した行動をとるよう職員全員で努めた。利用者自身の意識も育成中。
- ・職員 職員の資質、専門性向上のために、系統的、効果的な研修を実施。
採用時研修
- ・その他 共同生活援助計画の作成と共同生活援助計画に基づき利用者さん一人一人に応じて必要な支援を行った。
その他、関係市町村等連絡調整を密にした。

平成29年度

事業及び行事

ヴィラ清川

月	日	内容
4月	12日	避難訓練
	18日	職員会議
	24日	除草
5月	4日	こどもの日メニュー 夕食
	23日	職員会議
6月	19日	職員会議
7月	20日	避難訓練 地震
	25日	職員会議
8月	2日	消防設備点検 あしがら防災
	8日	除草
9月	14日	定期健康診断
10月	20日	職員会議
	27日	お食事会 夕食
11月	15日	避難訓練 地震
12月	4日	夜間外出 宮が瀬イルミネーション(班に分かれて)
	13日	新職員会議
	14日	夜間外出 宮が瀬イルミネーション
	20日	夜間外出 宮が瀬イルミネーション
1月	20日	職員会議
2月	23日	定期健康診断
	26日	消防設備点検 あしがら防災
3月	2日	防災訓練 厚木防災センター
	7日	浄化槽法定点検

29 年度

研修参加状況

施設外研修

(全体)

年	月	日	内 容	参加人数
29	8	3	行動障害の理解～問題行動の捉え方とグループホームの関わり方～	1
29	8	9	障害福祉施設における防犯対策について	2
29	8	23	サービス管理責任者(介護分野)研修	1
29	8	24	支援に役立つ応用行動分析	1
29	8	28	社会福祉法人制度改革対応フォローアップセミナー	2
29	9	11、12	サービス管理責任者(介護分野)研修	1
29	9	11	アセスメント初級研修	1
29	9	15	クレーム対応の間違いについて	1
29	9	28	局地的豪雨などの「いざというとき」の想像力・習慣をみにつける	1
29	11	1	安全運転管理者法定講習	1
29	11	14	利用者の思いに寄り添った支援とは	1
29	11	28	非正規職員向け研修～援助のプロとなるために～	1
29	12	6	障害者福祉施設従業者等による障害者虐待について	1
29	12	8	神奈川県障害者虐待防止・権利擁護研修 マネージャーコース	1
29	12	18	神奈川県障害者虐待防止・権利擁護研修 マネージャーコース	1
30	1	11、12	苦情対応を理解する	1
30	1	29	障害者差別解消フォーラム	1
30	2	14	平成30年度の神奈川県における障害者グループホーム関連施策の動向	1
30	2	16	障がい者支援の全体像と障害福祉サービスについて	1
30	2	21	予算・決算承認理事会から評議員会開催までの手続き方法	1
30	3	2	神奈川県厚木防災センターにて総合避難訓練/職員向け防災訓練	職員全員
30	3	9	事業所における権利擁護を考える	2
30	3	11、12	平成29年度アセスメント研修	1

施設内研修

年	月	日	内 容	
29	5	22	人権擁護について	職員全員
29	7	24	災害時の対応について	職員全員
29	11	13	安全運転研修	職員全員
30	1	19	手話講習会	利用者・職員・家族